

京都市美術館再整備工事 基本設計

平成28年 6月

1	デザインイメージ	P 1
2	配置計画	P 5
3	平面計画	P 6
4	断面計画	P 9

1 デザインイメージ



北西鳥瞰

京都市美術館本館の重厚な佇まいと風格を尊重しながら、現代の美術館としてふさわしい機能と斬新なデザインを持つエントランス部分を正面地下に増築し、緩やかなスロープ状の前面広場を通して、より親しみやすい美術館を実現します。



スロープ広場

神宮道に面した「スロープ広場」は、市民に様々な活動や憩いの場を提供するとともに、美術館に訪れた人々を、エントランスへ自然に導きます。



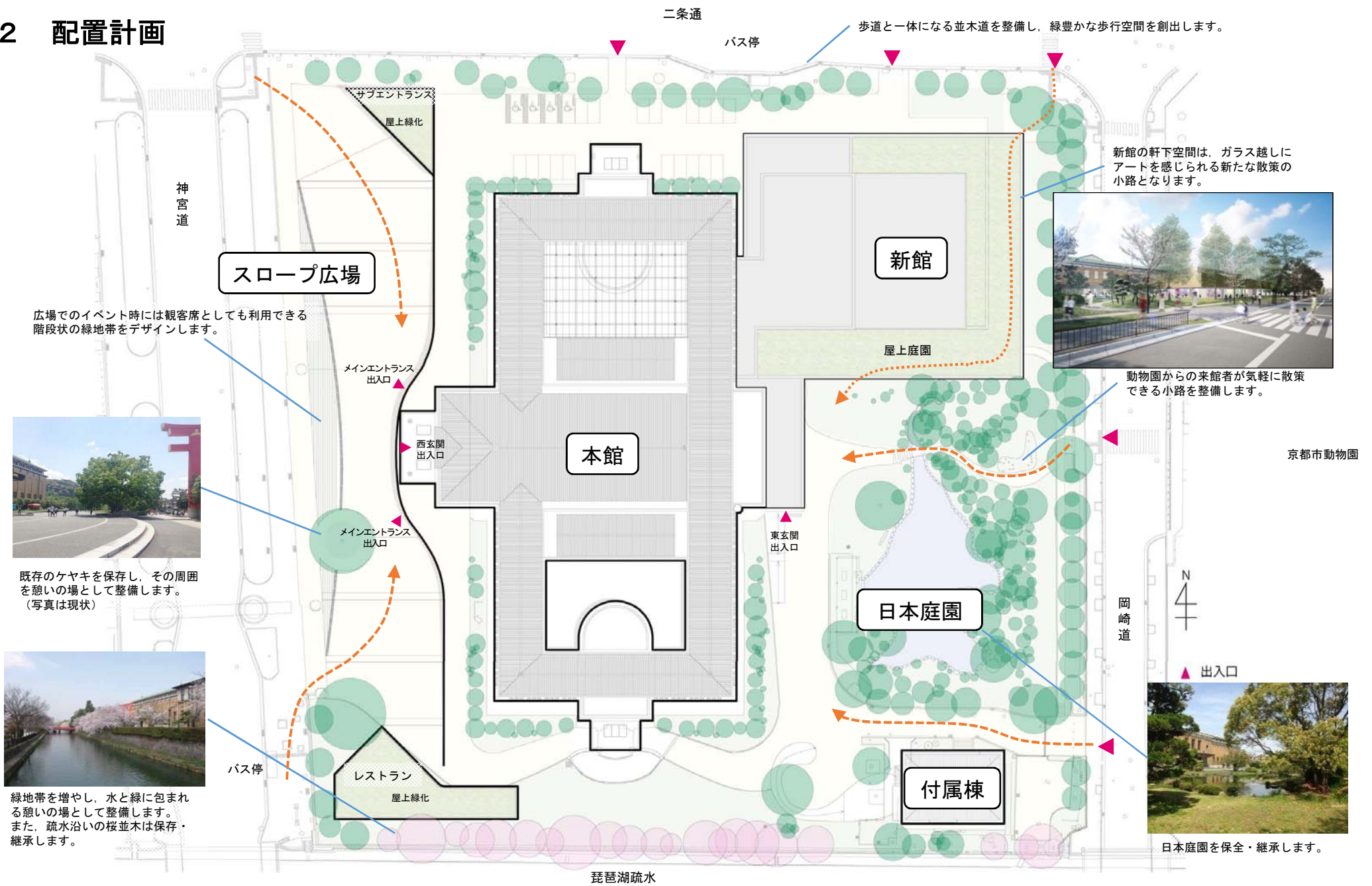
新館

敷地の北東部には、現代アート展示室や収蔵庫をもつ、明るく開放的なデザインの「新館」を整備します。新館は、東山を望み、南側の日本庭園と一体となった空間を構成するとともに、京都市動物園との間に新たな人の流れを生み出します。



南東鳥瞰

2 配置計画



3 平面計画

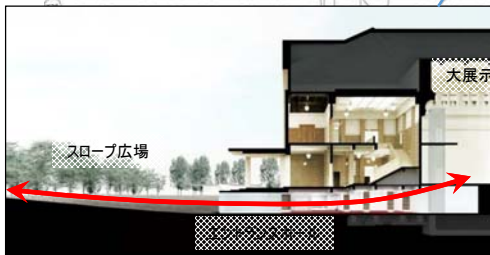
若手芸術家の発信の場となるギャラリーや講演室を北西エントランスに隣接して設置します。

地下1階

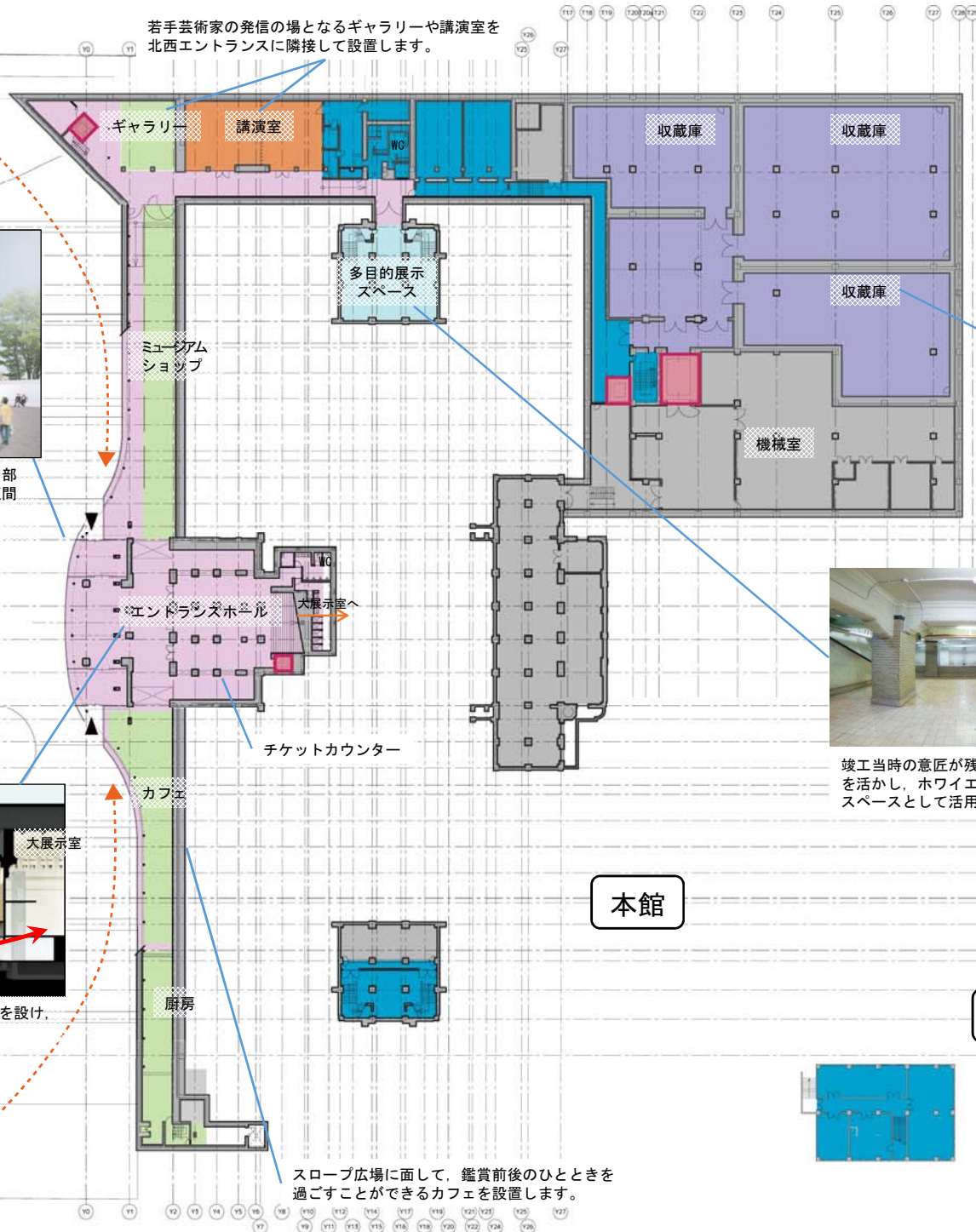


現代的で緩やかなカーブのガラスを通じて、内部のカフェやミュージアムショップの賑わいが垣間見えます。

スロープ広場



本館の地階に十分な広さを持つ新たなエントランスを設け、来館者をスムーズに館内に誘導します。



新館

恒温恒湿の収蔵庫を新たに整備します。



竣工当時の意匠が残る特徴的な空間を活かし、ホワイエや展示が可能なスペースとして活用します。

本館

付属棟

スロープ広場に面して、鑑賞前後のひとときを過ごすことができるカフェを設置します。



- EV
- 出入口
- カフェ・ミュージアムショップ等
- 展示
- 収蔵
- 共用部
- 多目的スペース等
- 事務・搬入
- 機械



ガラスの屋根を設けて屋内化し、展示やレセプション会場等として活用します。

スロープ広場

内部に新たな壁・天井を設け、恒温恒湿の展示環境を整えます。



スタンドガラス天井や大理石の階段等、竣工当時の意匠を保存します。

パーティー会場としても活用ができるレストランを疏水沿いに整備します。

レストラン

サブエントランス

新館

現代アート展示室



日本庭園を間近に感じられる位置にロビーを設けます。

職員出入口

搬出入口

搬出入口

北中庭

展示室

大展示室

展示室

南中庭

日本庭園

本館

屋外展示や憩いの場として活用します。



大階段で地階エントランスとつながり、ロビーやイベントスペース、大型作品の展示空間として活用します。

付属棟

多目的スペース

現在の事務所棟はワークショップなど多様なニーズに対応できる空間として再生します。



- EV
- 出入口
- カフェ・ミュージアムショップ等
- 展示
- 收藏
- 共用部
- 多目的スペース等
- 事務・搬出入
- 機械

4 断面計画

